

授業のポイント



① 児童の「伝えたい」という思いが膨らむ目的・場面・状況の設定



「仲間に感謝の気持ちを伝えるカードを紹介する」場面を設定し、クイズを取り入れて楽しく伝え合いました。相手に当ててもらえるよう、図柄を構成する様々な形を説明する中で、形や色、数の言い方に慣れ親しむことができました。

② 「練習してから対話」ではなく、「使いながら身に付ける」学習過程



自分の伝えたい内容と用いる英語を、その場で考えて話します。既習表現を思い出しながら、相手を替えて繰り返し、楽しみながら対話する中で、よりよい伝え方に気付きながら、英語に慣れ親しむことができました。



学習到達目標を軸にした指導と評価の一体化

領域別に設定した各学年の学習到達目標を基に、単元の目標を定め、指導と評価の計画を立てています。「何ができるようになるか」を明確にし、学習過程で「何について・どのような気づきを促すか」を具体化して指導することで、目標の姿に近づくことができました。

言語活動の充実に資するICTの活用



相手に送るカードをデジタルで作成したことで、形を動かしながら英語でヒントを出すなど、より実際の使用場面に近いやり取りが生まれました。